

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	21107
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部		開催方法		☐対面 ()	
					■オンライン (同時・録画)	
2. 科目名	SDGs に向けた生物生産学入門					
	学問分野	番号	33	名称	農学 (農学、水産学など)	
3. 担当教員	大学院統合生命科学研究科・教授 他 14 名					
4. 開講学期	前期 週 2 コマ					
開講期間 (曜日)	令和 7 年 4 月 14 日 (月)、4 月 21 日 (月)、4 月 28 日 (月)、5 月 7 日 (水)、5 月 12 日 (月)、5 月 19 日 (月)、5 月 26 日 (月)、6 月 2 日 (月)					
開講時間	12 時 50 分～14 時 20 分、14 時 35 分～16 時 05 分 (1 日 2 回)					
5. 募集定員	80 人					
6. 科目内容・授業計画	<p>現代の人類が抱えている食料・環境問題や資源動植物の生産と生態、食品科学や発酵に関わる微生物について学習し、SDGs 達成に貢献する生物生産学を理解する。15 名の教員によるオムニバス形式で、月曜日に 2 回分の授業を連続で行う。授業内容と担当者、授業キーワードは以下の通りである (順不同)。</p> <p>【生命の仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 代謝とエネルギー：グルコース代謝/電子伝達系/ATP 合成 (藤井) 生殖の仕組み—鳥類：受精能獲得/貯精/総排泄孔 (松崎) 作物の地上部の形態と機能：植物発生/分裂組織 (メリステム)/遺伝学 (田中) <p>【陸の生物生産】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳生産と感染防御：乳房/炎症/抗菌ペプチド (磯部) 土壌の役割：土壌/植物生産/養分循環 (長岡) ニワトリの本能行動と生産性：ニワトリ/間脳視床下部/攻撃行動 (河上) 家畜化と品種改良：家畜/家畜化/ゲノム育種 (中村) <p>【水圏の生物生産】</p> <ul style="list-style-type: none"> 甲殻類の高付加価値化：性差/内分泌/生態応用 (豊田) 高 CO2 の海から見える未来の海の生態系：海洋酸性化/CO2 シーブ/海洋生態系 (和田) 南極海水下の魚類生態：極限環境/適応進化/海水下生態系 (河合) 瀬戸内海の漁業とクロダイ：水産業/種苗放流/マガキ (海野) <p>【食の科学と利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肥満と生活習慣病：食品と肥満/糖尿病/白色脂肪組織 (矢中) 食べ物による病気の予防：食生活/健康/保健機能食品 (鈴木) 食品の安全管理と評価：管理基準/管理手法/評価技術 (羽倉) 食料の需給動向と流通：食料自給率/食の外部化/フードシステム (細野) 					
7. 受講料	2,000 円					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) テキストには「SDGs に向けた生物生産学入門」(三本木至宏監修、共立出版、2021 年発行)を使用します。大学生協で購入できます (2,970 円 (税込))。					
9. 学習記録	交付する				<input type="checkbox"/> 交付しない	
10. 科目等履修生	受け入れる					
	単位数	単位				<input type="checkbox"/> 受け入れない
	受入学年	高校	年生以上 (二次募集時	年生)		
	試験・評価					
特記事項						
11. 開講条件※1 あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 () 人					
	② 不開講通知日 (前期開講科目は 3 月末まで/後期・集中開講科目は 6 月末まで)					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 第 1 回目の授業でテキストと各回の授業内容を紹介します。それに従って予習をしてください。Microsoft Teams を用いたオンライン (同時双方向型) 授業にて実施します。					
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。